

<p>(3) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油機器保守協会が行い、配管を監督すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">一 般 系 統</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏期 37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>26℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬期 0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>22℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気環境用エアコンの屋内設定値は、夏期温度%とする。</p> <p>※本工事・別途</p> <p>風量調整 ※する ※しない 水質調整 ※する ※しない 騒音の測定 ※する ※しない 室内外空気の温度の測定 ※する ※しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ※しない 工事対象箇所の既設機器運転状態の記録 ※する ※しない</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3. 2mm ・ 4. 5mm) (2) はいじり濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) はいじり濃度測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・ 設けない</p> <p>※別途 ・ 本工事</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長さの長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ ステンレス製ダクト (・ A区分 ・ B区分) ・ 塩ビ製ダクト (・ A区分 ※B区分)</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 換気用耐火二層管 (大径認定品) ※フレキシブルダクト (・ 保温付 ・ 保温無) (注) 1 使用区分は図示による。 取付け箇所は、図示した箇所及び下記箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形式の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔) () 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔) ()</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm) ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、9mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ※硬質塩化ビニル管VVP ドレン管 (屋内) ・ 保温機能付空調用ドレン管 (LのAC100V相当品) ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ※硬質塩化ビニル管VVP (消防設備事項) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管 送 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (注) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (注) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個) () 個付とする。 ・ 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (・ 固定形 ※着脱形) を設ける。 ・ 空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (・ 固定形 ※着脱形) を設ける。</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御には (※給油ポンプ制御 ※減速法管理 ・ 遠隔監視 ・ 電磁弁制御 ・ 送油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p>	外 気		一 般 系 統				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏期 37.1℃	47.1%	26℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬期 0.5℃	49.4%	22℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	<p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ菌菌殺剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に消濁用の水栓を分岐して設ける。</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷凍機 HFC (R410A, R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p> <p>① 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長さの長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ ステンレス製ダクト (・ A区分 ・ B区分) ・ 塩ビ製ダクト (・ A区分 ※B区分)</p> <p>② 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 耐火二層換気管又は耐火VVP ※フレキシブルダクト (・ 保温付 ・ 保温無) (注) 1 使用区分は図示による。 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>③ 風量測定口</p> <p>④ チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔) () 定格入力DC24V, 0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔) ()</p> <p>⑥ 多選管の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下配箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VVP) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※給排水が滞留する部分) () の排気ダクトには設ける</p> <p>下配のダクトの保温を行う。 ※全熱交換換気の隔壁部ダクト 仕様はN・(ロ)・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・ 湯沸室) 用の隔壁部ダクト (仕様はh・(イ) ・ Xとし範囲は図示による)</p> <p>風量調整 ※する ※しない 風量測定 ※する ※しない 騒音の測定 ※する ※しない</p> <p>① ダクト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付 (・ スリット形 ※スイング形) ・ 壁取付 (・ スリット形 ・ スイング形) 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式 (遠隔操作 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>① 中央監視制御装置</p> <p>・ 有り ※無し</p> <p>② 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>③ 電気計装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>① 小便器用排水装置</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>② パリアフリー対応</p> <p>・ 小便器 ※全部 ストール形 ・ 一部 ストール形 手すり (・ 本工事 ※別途工事) ・ 洗面器 ※自動水栓 (・ 全部 ※一部) ・ レバー式水栓 (一部) ・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式 ※スライドバー ・ フック ※止水機能付排水形シャワーヘッド ・ 鏡 ※600×800 (耐食鋼) ・ 傾斜鏡 (・ 照明無 ・ 照明付)</p> <p>③ 衛生器具付風水栓</p> <p>(1) 器具付風水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>④ 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・ 乾電池 ・ 自己発電</p> <p>⑤ 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用温水とする。 (5) リモコン ※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電</p> <p>器具表又は下配の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式 (※センサー式 ・ タッチスイッチ式) ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じて低圧形とする。 ※設ける (ピット内は除く) ・ 設けない</p> <p>⑧ 掃除機</p> <p>※共用とする ・ 共用付とする。</p> <p>⑨ 排水器具用ダクト継手</p> <p>※使用できる ・ 使用できない</p>	<p>10 標記板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せっけん入れ</p> <p>せっけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p> <p>12 鏡音装置</p> <p>・ 女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事) ・ 男子用トイレブースに設置する。(・ 本工事 ※別途工事) ・ 多目的トイレブースに設置する。(・ 本工事 ※別途工事)</p> <p>13 その他</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ※HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ・</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ※HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>・ HVP ・ 水道用ステンレス鋼管 ※水道配用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>・ HVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>居室住宅 住戸内</td> <td>・ ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) ・ 高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>・ ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所空腔室内又は衛生器具等接続管</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>・ HVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>・ 高密度ポリエチレン管 (32A以上) ※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所空腔室内又は衛生器具等接続管</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・ 圧縮 ※アパ) 及び (・ 拡張) 便所・廊下流し用リネン管 (※拡張) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JIS-Bによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた漏水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用弁を設ける。 5. 口径25Aに大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び寸法を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐摩強度、容量、寸法を満たすものであればよい。 ※給排水栓を除去する場合は、屋外に設ける水栓は耐摩水栓とする。ただし屋内外は固定コマ式とする。 ※観メーター (※買取品) ・ 子メーター (※買取り) ・) ※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。 ※防凍コントロール水栓柱 (1200L) ・ 凍結水栓柱</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施4 (・ (a) ・ (b) ・ (c)) 水道事業者の集合住宅に関する戸別給排水規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における継手の復旧も含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>① 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・</td> <td>・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ 排水用軟質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>・ リサイクルVP又はRS-VU ・ VU ・ 鋼管 (ゴム輪接合) ・ REP-VU (軽荷重の場合)</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ SUS ・ SGP- PD ※HVP ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ・	・ SUS ・ SGP- PD ※HVP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	・ SUS ・ SGP- PD	地中埋設部 (水道直結部分)	・ HVP ・ 水道用ステンレス鋼管 ※水道配用ポリエチレン管 (PE)	地中埋設部 (一般部分)	・ HVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配用ポリエチレン管 (PE)	居室住宅 住戸内	・ ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) ・ 高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内、PS内 (注5)	・ ポリブテン管 (10mm保温付)	便所天井内	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	便所空腔室内又は衛生器具等接続管	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	その他の部分	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	・ SUS ・ SGP- PD	地中埋設部 (一般部分)	・ HVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	・ 高密度ポリエチレン管 (32A以上) ※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所天井内	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	便所空腔室内又は衛生器具等接続管	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	その他の部分	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管	施工箇所	管種別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ SGP (白)	その他の部分	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ 排水用軟質塩化ビニルライニング鋼管	その他の部分	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	・ リサイクルVP又はRS-VU ・ VU ・ 鋼管 (ゴム輪接合) ・ REP-VU (軽荷重の場合)	耐火性能を要求される箇所	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ SGP (白)	その他の部分	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>(注) 1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は排水配管の材料選別による。 3. 原則として排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。</p> <p>② 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※階除口付きソケット ・ 満水試験用階除口ソケット</p> <p>④ 餅の適用</p> <p>別紙仕様による。</p> <p>① 配管材料</p> <p>・ 露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管 (M鋼管) ※一般配管用ステンレス鋼管 ・ ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>② 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>③ 弁類</p> <p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JIS-Bによる。</p> <p>④ ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS室内設置の潜熱回収型</p> <p>⑤ 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管 ※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40 地中埋設部 ※SGP-VS ・ H1VP 消火用 一般配管 ※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40 地中埋設部 ※SGP-VS ・ H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・ STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>① 配管材料</p> <p>都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP (白) 地中埋設部 ※PE管</p> <p>② ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地壁面に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク水栓</p> <p>※レバー式泡立水栓 ・ 自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1.6.1.6の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する漏水の処理に係る特記仕様書 第1条 この特記仕様書は、埼玉県建設工事特別共済仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する漏水 (以下「漏水」という。) の処理に用いなければならない事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した漏水を次のとおり処理するものとする。 ・ 埋設及び処理 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m3 ・ 中間処理施設 市 地内、(後) ・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場へ搬入 (処理に焼却又は溶融を含む) ・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む) 第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら漏水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した漏水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に搬送及び処理するものとする。 第5条 受注者は、汚泥の中間処理施設の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 第6条 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業者の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 第7条 受注者は、漏水の処理に関する履行について、産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理員 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 第8条 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可書の写しを添付すること。 第9条 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示するものとする。 第10条 漏水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象とならないものとする。 第11条 受注者は、舗装版切断時に漏水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第12条 この特記仕様書に抵触が生じた場合には、別途監督員と協議するものとする。</p>
外 気		一 般 系 統				屋 内																																																																																														
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																											
夏期 37.1℃	47.1%	26℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																											
冬期 0.5℃	49.4%	22℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																											
施工箇所	管種別																																																																																																			
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ SUS ・ SGP- PD ※HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ・	・ SUS ・ SGP- PD ※HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
保温をしない屋外露出部	・ SUS ・ SGP- PD																																																																																																			
地中埋設部 (水道直結部分)	・ HVP ・ 水道用ステンレス鋼管 ※水道配用ポリエチレン管 (PE)																																																																																																			
地中埋設部 (一般部分)	・ HVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配用ポリエチレン管 (PE)																																																																																																			
居室住宅 住戸内	・ ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) ・ 高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																																			
便所天井内、PS内 (注5)	・ ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																			
便所天井内	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
便所空腔室内又は衛生器具等接続管	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
その他の部分	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
湿潤シンダー内配管	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
保温をしない屋外露出部	・ SUS ・ SGP- PD																																																																																																			
地中埋設部 (一般部分)	・ HVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配用ポリエチレン管 (PE)																																																																																																			
便所天井内、PS内 (注5)	・ 高密度ポリエチレン管 (32A以上) ※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																																			
便所天井内	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
便所空腔室内又は衛生器具等接続管	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
その他の部分	・ SUS ・ SGP- PD ・ HVP ・ ポリブテン管																																																																																																			
施工箇所	管種別																																																																																																			
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																			
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ SGP (白)																																																																																																			
その他の部分	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																			
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む) ・	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ 排水用軟質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																			
その他の部分	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																			
地中埋設部	・ リサイクルVP又はRS-VU ・ VU ・ 鋼管 (ゴム輪接合) ・ REP-VU (軽荷重の場合)																																																																																																			
耐火性能を要求される箇所	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 耐火二層管VVP (FDP S-1) 又は耐火VVP ・ SGP (白)																																																																																																			
その他の部分	・ リサイクルVP又はRF-VP ※VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																			
<p>< 凡 例 ></p>			<p>株式会社 桂設計 埼玉事務所 KATSURA SEKKI INC. KATSURA 一級建築士登録 第301170号 白須 若菜</p>	<p>工事名 川島町公立保育園統合整備工事 計画 製作 調査 調査 図面名 機械設備 特記仕様書(2) 縮尺 A1:N.S A3:N.S 令和7年9月4日 業務番号 000000 図面番号 M-02</p>																																																																																																

Ⅱ. 凡例

名称	記号	材料・規格等	名称	記号	材料・規格等
給水管(共通)	埋設	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP JIS K 6742 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD JWVA K 116 水道用ポリエチレン粉体ビニルライニング鋼管 SGP-PD JWVA K 132 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304 JIS G 3448 水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762 水道配水用ポリエチレン管 JWVA K 144	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
給水管(上水) 補給水、加湿管含む	引込一量水器	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP JIS K 6742 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB JWVA K 116 水道用ポリエチレン粉体ビニルライニング鋼管 SGP-PB JWVA K 132 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304 JIS G 3448 保温材付架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP JIS K 6742 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA JWVA K 116 水道用ポリエチレン粉体ビニルライニング鋼管 SGP-PA JWVA K 132 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304 JIS G 3448 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWVA K 140	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
給水管(雑用水)		水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP JIS K 6742 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA JWVA K 116 水道用ポリエチレン粉体ビニルライニング鋼管 SGP-PA JWVA K 132 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304 JIS G 3448 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWVA K 140	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
給湯管(往還)		水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWVA K 140 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304 JIS G 3448 保温材付架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 架橋ポリエチレン管(ベア) JIS K 6769	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
追放配管	PT	硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 WSP 032	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
排水管(共通)	埋設	硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 WSP 032	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
汚水管		硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 WSP 032	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
雑排水管		硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HTVP 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 WSP 032 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
雨水管	RD	硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454
通気管		硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 硬質ポリ塩化ビニル管 VP JIS K 6741 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042	消火管(共通)	埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041 配管用炭素鋼管 SGP(B) JIS G 3452 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼管 Sch40 JIS G 3454

Ⅲ. その他

○令第129条の2の3(共通)

○令第112条第20項(共通)

○令第129条の2の4(共通)

○令第129条の2の4(給水)

○令第129条の2の4(排水)

○令第129条の2の4(ガス)

○令第112条第21項(空調・換気)

○令第129条の2の5(空調・換気)

○令第9条第7号(給水)

○令第9条第8号(排水)

○令第9条第16号(給水)

○令第9条第5号(ガス)

○令第9条第11号(ガス)

○令第126条の3(排煙)

○令第9条第1号(共通)

○令第9条第7号(給水)

○令第9条第8号(排水)

○令第9条第16号(給水)

○令第9条第5号(ガス)

○令第9条第11号(ガス)

建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

○建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとする。

・屋上から突出する水廻、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する。

○建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全な支保のない構造とする。

○建築物の部分を通って配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずる。

○管の伸縮その他の変形により当該管に負荷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可換とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずる。

○管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防震ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる。

○満水時の質量が15kgをこえる給湯設備については、H12建告1388号改正H24国交告1447号の規定に適合する転倒防止措置を講ずる。

・法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水廻、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

○防火区画を貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋める。

○給水管・配電管その他の管が、防火区画、防火壁・防火床及び昇昇、防火上主要な仕切及び隔壁を貫通する場合には以下の措置を講ずる。

○貫通部分から両側1m以内にある部分を不燃材料とする。

○管の外径が平成12年建設省告示第1422号に定める数値未満

○防火区画貫通処理

区画貫通認定番号		
貫通箇所	貫通箇所	認定番号
冷媒管	ALC、コンクリート壁	PS060WL-0131、PS060WL-0196
	中空壁	PS060WL-0130、PS060WL-0196
	ALC、コンクリート床	PS060FL-0129、PS060FL-0185

・圧力タンク及び給湯設備にはJIS規格に準拠した有効な安全装置を設置する。

(脚張水排出装置・安全弁・溢し弁等)

○腐食する恐れのある部分に設置する鋼管は、防食テープ、熱収縮シート、アスファルトプライマール等による防食処理、若しくは外面ライニング鋼管を採用し、腐食防止措置を講ずる。

○上水の逆流防止のために、水栓の開口部には以下の措置を講ずる。

○吐水口空回 ・バキュームブレーカー ・逆止弁

○給水管の凍結防止として、以下の措置を講ずる。

・埋設配管(凍結深度以下への埋設) ・xxx)

・屋外露出(凍結防止ヒーター ・防凍保温)

・室内配管(凍結防止ヒーター ・防凍保温 ○室内暖房 ・水抜き栓)

・排水立上がり管(凍結防止ヒーター ・水抜き栓)

○給水管のウォーターハンマー防止として、管内流速が過大とならないよう管径を大きくし、流速を小さくする等の措置を講ずる。

○排水設備(排水管、通気管、排水槽、排水トラップ、阻集器)の構造は、昭50建告第1597号第2の規定による。

(衛生器具JIS A 5207、排水トラップJIS A 4002及び4421、阻集器SHASE-S217)

○排水管の口径算定及び勾配は以下の方法により計算を行う。

○排水負荷単位法 ・定常流量法(SHASE-S206) ・xxx

○ガス栓の構造は昭56建告第1099号の規定に従い、以下の構造方法とする。

○金属管ねじ接合 ・過流出安全弁の設置 ・ガス警報器の設置

○防火ダンパーの構造及び設置方法は、昭48建告第2565号及び平12建告第1376号による。

○外気取入口並びに外気に直接開放された給気口及び排気口には雨水又はねずみ、虫、ほこりその他衛生上有害なものを防ぐための措置を講ずる。

○換気扇を設けた、直接外気に開放された給気口又は排気口には、外気の影響が少ないウェザーカバーやベンドキャップを設けること。

・中央管理方式の空調調和設備の構造は、昭45建告第1832号による。

・手動開放装置の設置位置はFL+800~1,500を基準とし、見やすい方法で使用法を表示する。

・排煙設備の電気配線は昭45建告第1829号による。

○火を使用する設備及び火災の発生のおそれのある設備の位置及び構造その他火災予防のために必要な措置は火災予防条例の規定による。

○水道法第16条に規定する給水装置の構造は、同施行令第6条の規定による。

○下水道法第10条第1項に規定する排水設備の構造は同施行令第8条の規定による。

○下水道法第30条第1項に規定する排水設備の構造は同施行令第22条の規定による。

・特定都市河川浸水被害対策法第8条に規定する排水設備の構造は同施行令第4条の規定による。

○ガス消費設備の構造は、ガス事業法施行規則第202条による。

・ガス設備の構造は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2の規定による。

名称	記号	備考	名称	記号	備考	名称	記号	備考	名称	記号	備考
埋設弁	⊖		熱量計	Ⓜ		簡接排水口	⊖		風量調整ダンパー	⊗ ⊕ VD	
仕切弁	⊕ GV		電磁流量計	Ⓜ		通気金物	⊖		逆流防止ダンパー	⊗ ⊕ CD	
パタライ弁	⊕ BV		油量表	Ⓜ		通気弁	⊖		モーターダンパー	⊗ ⊕ MD	
玉形弁	⊕ SV		減圧弁装置	Ⓜ		防水継手	⊖		ピストンダンパー	⊗ ⊕ PD	
逆止弁	⊕ CV		温度調整装置	Ⓜ		グリストラップ	Ⓜ		防火ダンパー	⊗ ⊕ FD	
ボール弁	⊕ BAV		電動弁装置	Ⓜ		地中埋設表	●		排煙ダンパー	⊗ ⊕ SD	
コック	⊕		蒸気トラップ装置	Ⓜ		トラップ解	Ⓜ		防火防煙ダンパー	⊗ ⊕ SFD	
安全弁及び遮し弁	⊕		量水器	Ⓜ		インバート解	Ⓜ		排煙ダンパー	⊗ ⊕ SMD	
エア抜き弁	⊕		水栓	Ⓜ		ため解	Ⓜ		防火ダンパー(排煙)	⊗ ⊕ HFD	
ストレーナー	Ⓜ		洗浄弁	Ⓜ		浸透解	Ⓜ		ベントキャップ	Ⓜ	
Y型ストレーナー	Ⓜ		シャワー	Ⓜ		公設解	Ⓜ				
フレキシブルジョイント	Ⓜ		水栓柱	Ⓜ		ガス栓(-口)	Ⓜ				
防振継手	Ⓜ		水栓柱	Ⓜ		ガス栓(二口)	Ⓜ				
ボールジョイント	Ⓜ		散水栓	Ⓜ		壁埋込ガス栓	Ⓜ				
伸縮管継手	Ⓜ		ポータルタップ	Ⓜ		ガスメーター	Ⓜ				
圧力計	Ⓜ		水抜き	Ⓜ		屋内消火栓	Ⓜ				
水高計	Ⓜ		床下掃除口	Ⓜ		連結送水管放水口	Ⓜ				
遠成計	Ⓜ		床排水トラップ	Ⓜ		送水口	Ⓜ				
温度計	Ⓜ		排水金物	Ⓜ		テスト弁	Ⓜ				
瞬間流量計	Ⓜ		簡接排水口	Ⓜ							

Ⅳ. 工事区分表(建築工事の区分表を優先する)

項目	建築	電気	給排水	空調	備考	項目	建築	電気	給排水	空調	備考
(1) コンクリート造の雑排水槽・汚水槽本体、仕上げ及びポンプ室	○	.	.	.		(21) ルーフドレンと集水	○	.	.	.	
(2) コンクリート造水用鉄製蓋及び化粧蓋、タラップ	○	.	.	.		(22) U字溝及びこれに接続する溜溝(外構)	○	.	.	.	
(3) 最下階配管ピット及び化粧蓋、タラップ	○	.	.	.		(23) 外壁取付けガラー	○	.	.	.	
(4) 床下配管ピットの人通り、通気口、排水口	○	.	.	.		(24) ドアガラー	○	.	.	.	
(5) 各種トレンチ蓋及び人孔蓋	○	.	.	.		(25) ウェザーカバー、ベントキャップ、外壁取付け換気口	.	.	○	○	
(6) 屋内各排水溝、網及び蓋	○	.	.	.		(26) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線	.	○	.	.	
(7) 各種機器管付・水廻りコンクリート基礎、鉄骨架台、防水、仕上	○	.	.	.	フェンス含む	(27) ボイラー操作盤及び二次側配管・配線	.	.	.	○	
(8) 軽微な基礎、機器取付用アンカー、架台	.	○	○	○		(28) 冷凍機用動力操作盤及び二次側配管・配線	.	.	.	○	
(9) 各種配管・ダクト類、ガラーのスリーブ、開口箱入れ(鉄筋)	○	○	○	○		(29) パッケージ型空調器用電源で主元開閉器以降の配管・配線	.	.	.	○	
(10) 各種配管・ダクト類のスリーブ(鉄骨)	○	.	.	.		(30) 電動シャッターとその電源の二次側配管・配線及び操作盤・押取付	○	.	.	.	
(11) スリーブ、開口部の補強	○	.	.	.		(31) 空調用制御機器及び操作機器取付けと操作用配管・配線	.	.	.	○	
(12) (10)、(11)の空隙充填	○	○	○	○		(32) 衛生用液面制御機器(電極棒等を除く)取付けとその配管・配線	.	○	.	.	
(13) 補強を要する天井壁切込み及び下地補強	○	.	.	.		(33) 水用電極棒	.	.	○	.	
(14) 補強を要しない天井壁切込み	○	○	○	○		(34) 総合監視盤(空調・衛生用)	.	.	.	○	
(15) 開口部位置出し	○	○	○	○		(35) 防火戸・防火シャッターとその電源の二次側配管・配線	○	.	.	.	
(16) 設備機器、器具、配管・配線、ダクト用インサート	.	○	○	○		(36) 防火戸・防火シャッターの制御盤・検出器の取付けとその配管・配線	.	○	.	.	
(17) 点検口、点検扉(床・壁・天井・各シャフト)		(37) 排煙口・ダンパー等とその電源の二次側配管・配線	.	.	.	○	
(18) 各種床排水金物		(38) 排煙口・ダンパー等の制御盤・検出器の取付けとその配管・配線	.	○	.	.	
(19) 造付済みの排水金具							
(20) 外部雨樋(第一階まで)	○	.	.	.	※内蔵は給排水工事						

パッケージ・ビル用マルチエアコン 機器表

機器番号	系統	型式	定格能力		風量 (m3/h)	機外 静圧 (Pa)	電源			消費電力		電動機出力		加湿器		ドレン アップ	フィルター (BOX共)	防振装置	リモコン		接続配管口径					設置場所		備考	
			冷房 (kW)	暖房 (kW)			電圧 V	相 φ	電圧 V	冷房 (kW)	暖房 (kW)	ファン (kW)	圧縮機 (kW)	方式	加湿量 (kg/h)				個別	集中 管理	液 (φ)	ガス (φ)	ドレン (A)	台数	階	室名			
PAC-1-1	一系統	(屋外機)	店舗用エアコン (同時ツイン)	7.1	8.0	-	-	○	3	200	1.55	1.61	0.084	1.29	-	-	-	-	-	-	○	9.5	15.9	-	-	2	-	屋外	ダイキン SSRC80CTD
		(屋内機)	天井カセット型 (4方向)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.053x2	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	6.4	12.7	-	25	4	1	0,1歳児保育室
PAC-1-2	一系統	(屋外機)	店舗用エアコン (同時ツイン)	12.5	14.0	-	-	○	3	200	2.95	3.20	0.110x2	2.36	-	-	-	-	-	-	○	9.5	15.9	-	-	1	-	屋外	ダイキン SSRC140CD
		(屋内機)	天井カセット型 (4方向)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.053x2	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	9.5	15.9	-	25	2	1	2歳児保育室
PAC-1-3	一系統	(屋外機)	店舗用エアコン (同時ツイン)	10.0	11.2	-	-	○	3	200	2.30	2.45	0.110x2	1.79	-	-	-	-	-	-	○	9.5	15.9	-	-	1	-	屋外	ダイキン SSRC112CD
		(屋内機)	天井カセット型 (4方向)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.053x2	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	6.4	12.7	-	25	2	1	職員室
PAC-1-4	一系統	(屋外機)	店舗用エアコン (ペア)	5.6	6.3	-	-	○	3	200	1.27	1.34	0.053	1.10	-	-	-	-	-	-	○	6.4	12.7	-	-	2	-	屋外	ダイキン SSRC56CT
		(屋内機)	天井カセット型 (4方向)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.050	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	6.4	12.7	-	25	4	1	一時保育室、エントランス
PAC-2-1	一系統	(屋外機)	店舗用エアコン (同時ツイン)	12.5	14.0	-	-	○	3	200	2.95	3.20	0.110x2	2.36	-	-	-	-	-	-	○	9.5	15.9	-	-	3	2	設備置き場	ダイキン SSRC140CD
		(屋内機)	天井カセット型 (4方向)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.053x2	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	9.5	15.9	-	25	6	2	3, 4, 5歳児保育室
PAC-2-2	一系統	(屋外機)	店舗用エアコン (同時ツイン)	14.0	16.0	-	-	○	3	200	3.50	3.80	0.110x2	2.83	-	-	-	-	-	-	○	9.5	15.9	-	-	2	2	設備置き場	ダイキン SSRC160CD
		(屋内機)	天井カセット型 (4方向)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.106x2	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	9.5	15.9	-	25	4	2	多目的室
RAC-1-1	一系統	(屋外機)	ルームエアコン	2.5	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.4	9.5	-	-	1	-	屋外	ダイキン S256ATES-W
		(屋内機)	壁掛型	-	-	-	-	○	1	100	0.72	0.64	-	-	-	-	-	○	メーカー標準	-	ワイヤレス	○	-	-	-	20	1	1	職員更衣室
RAC-2-1	一系統	(屋外機)	ルームエアコン	5.6	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.4	9.5	-	-	1	-	屋外	ダイキン S566ATEP-W
		(屋内機)	壁掛型	-	-	-	-	○	1	200	2.07	1.88	-	-	-	-	-	○	メーカー標準	-	ワイヤレス	○	-	-	-	20	1	1	相談室
RAC-2-2	一系統	(屋外機)	ルームエアコン	4.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.4	9.5	-	-	1	-	屋外	ダイキン S406ATEP-W
		(屋内機)	壁掛型	-	-	-	-	○	1	200	1.37	1.41	-	-	-	-	-	○	メーカー標準	-	ワイヤレス	○	-	-	-	20	1	1	おもちゃ・絵本コーナー
PAC-K-1	厨房系統	(屋外機)	店舗用エアコン (同時ツイン)	14.0	16.0	-	-	○	3	200	4.40	4.40	2.83	0.11+0.11	-	-	-	-	-	-	○	9.5	15.9	-	-	1	-	屋外	ダイキン SSRT160CD
		(屋内機)	厨房用エアコン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60x2	-	-	-	○	メーカー標準	防振吊	ワイヤード	○	9.5	15.9	-	25	2	1	厨房
RAC-K-1	厨房休憩室系統	(屋外機)	ルームエアコン	2.5	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.4	9.5	-	-	1	-	屋外	ダイキン S256ATES-W
		(屋内機)	壁掛型	-	-	-	-	○	1	100	0.72	0.64	-	-	-	-	-	○	メーカー標準	-	ワイヤレス	○	-	-	-	20	1	1	厨房休憩室
RAC-K-2	厨房下処理室系統	(屋外機)	ルームエアコン	4.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.4	9.5	-	-	1	-	屋外	ダイキン S406ATEP-W
		(屋内機)	壁掛型	-	-	-	-	○	1	200	1.37	1.41	-	-	-	-	-	○	メーカー標準	-	ワイヤレス	○	-	-	-	20	1	1	厨房下処理室
RAC-K-3	厨房検収室系統	(屋外機)	ルームエアコン	2.5	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	6.4	9.5	-	-	1	-	屋外	ダイキン S256ATES-W
		(屋内機)	壁掛型	-	-	-	-	○	1	100	0.72	0.64	-	-	-	-	-	○	メーカー標準	-	ワイヤレス	○	-	-	-	20	1	1	厨房検収室

特記事項

1.電源周波数は○50Hz・60Hzとする。 9.その他標準付属品見込む。

2.定格冷房能力及び定格暖房能力、定格消費電力はJIS B 8616、JRA4002に規定された定格条件による。

3.電気容量は参考値とする。

4.冷媒はR32とする。

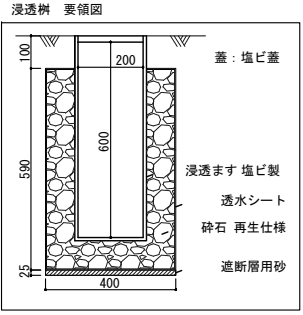
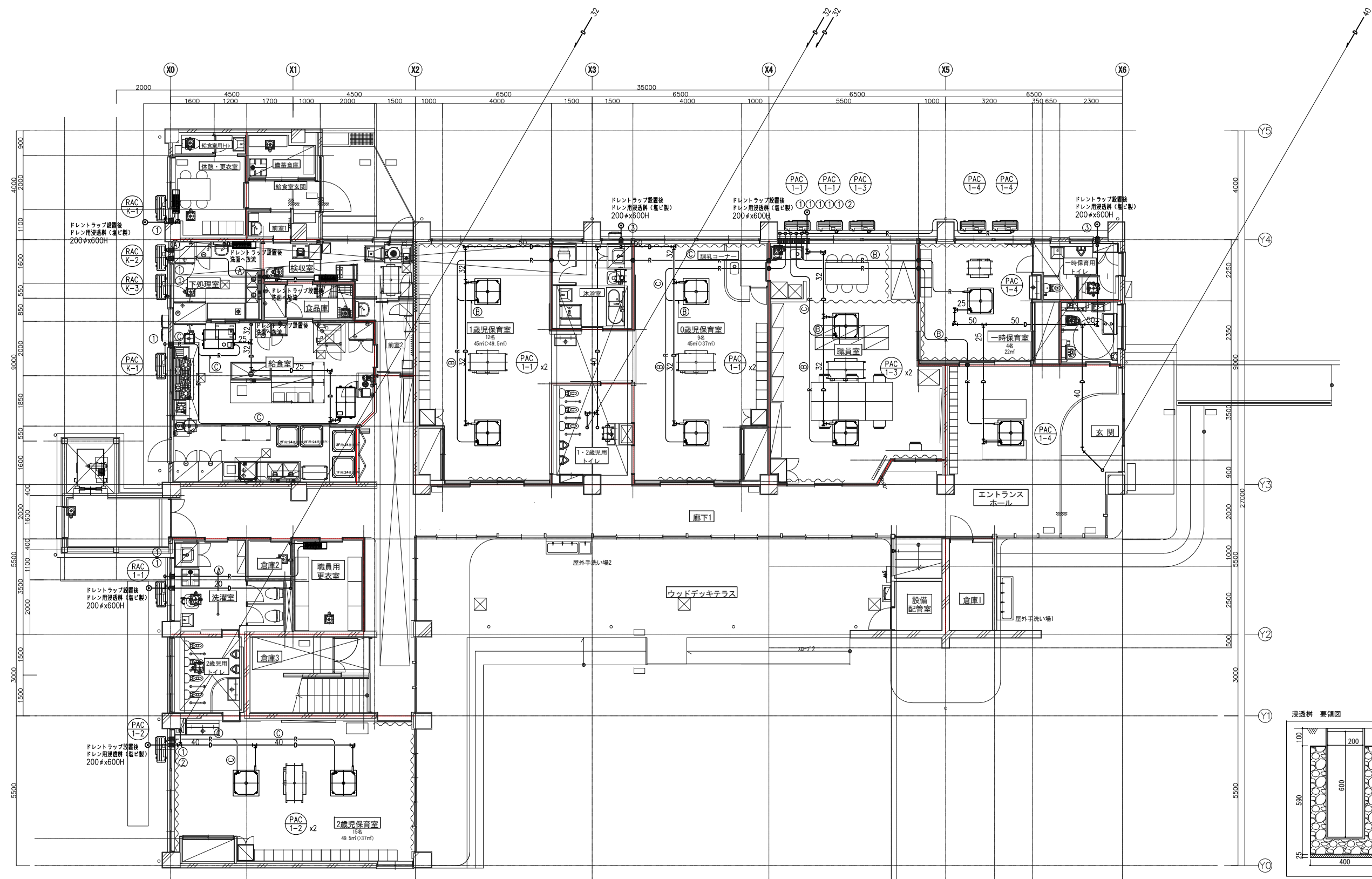
5.屋外機は高調波対策として、アクティブフィルター付属とする。

6.室内機予備フィルター ○100%見込む。・見込まない。

7.屋内機と屋外機との渡り制御配線配管工事は冷媒管共巻きとし、本工事とする。

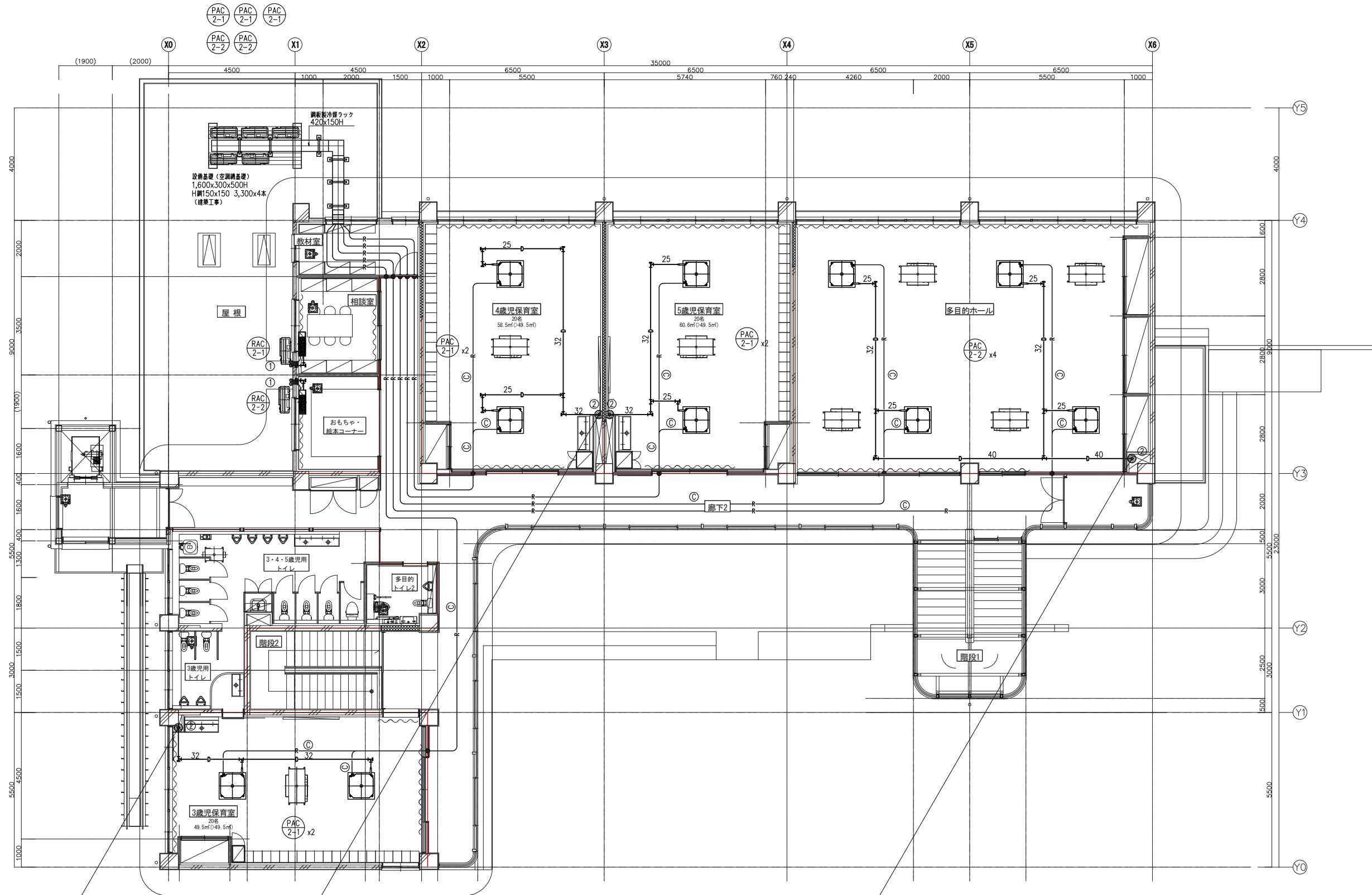
8.コンクリート基礎は、○建築工事・本工事とする。

・集中リモコン仕様
インテリジェントタッチコントローラー



はつり口径一覧		冷媒管サイズ表	
記号	口径	記号	サイズ (液xガス)
①	100φ	④	6.4φ x 9.5φ
②	125φ	⑤	6.4φ x 12.7φ
③	150φ	⑥	9.5φ x 15.9φ

- 注記
- (1) ●は区画貫通箇所を示す。 防火区画
 - (2) ●は区画貫通箇所を示す。
 - (3) 記載なき配管は、全て天井配管とする。
 - (4) 室内機・室外機の張り配管は冷媒管共巻とする。
 - (5) 屋外冷媒管外装は樹脂製とする。
 - (6) 機盤への接続配管口径は、機盤表参照。



はつり口径一覧		冷媒管サイズ表	
記号	口径	記号	サイズ (液xガス)
①	100φ	④	6.4φ x 9.5φ
②	125φ	⑤	6.4φ x 12.7φ
③	150φ	⑥	9.5φ x 15.9φ

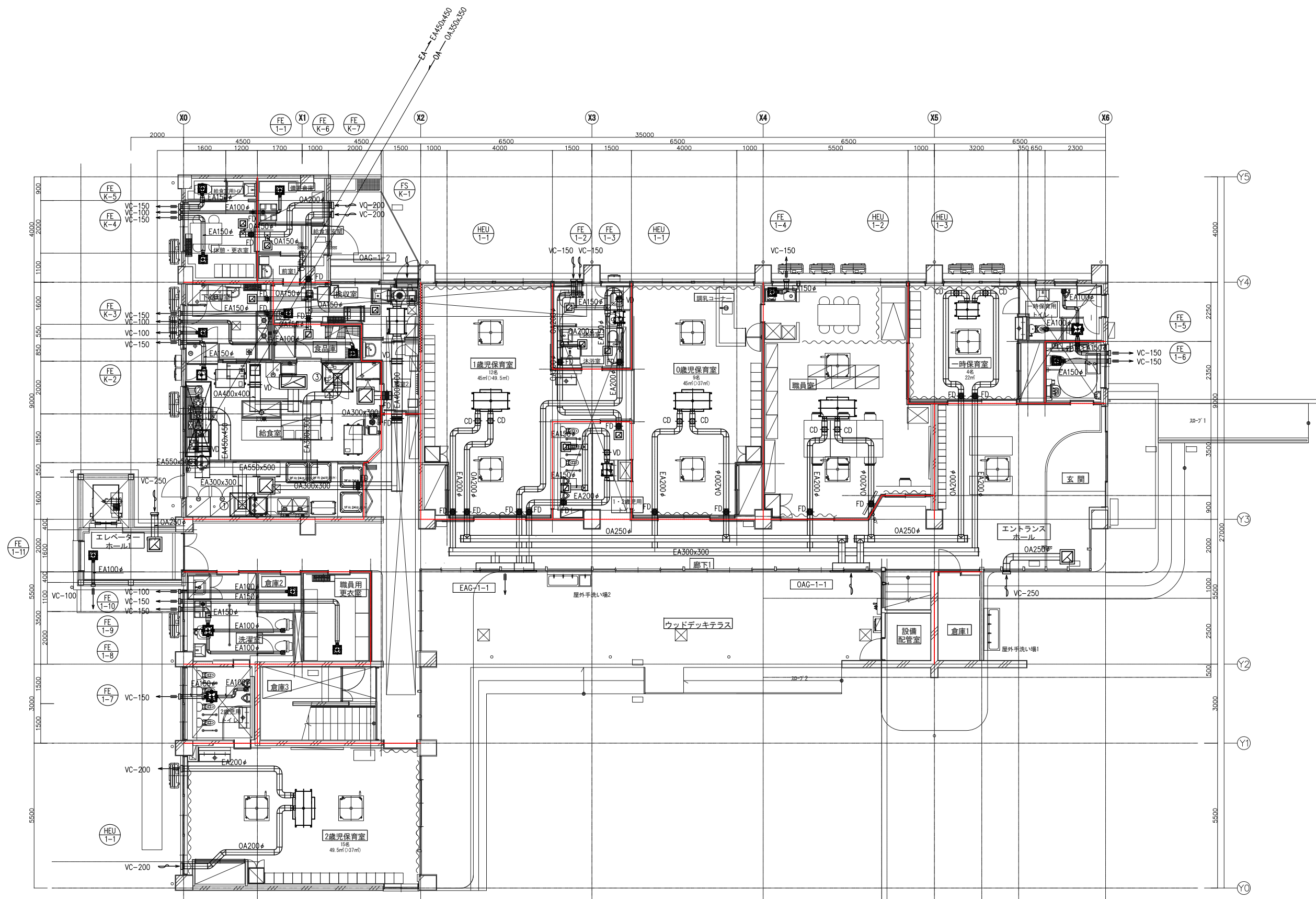
- 注記
- は区画貫通箇所を示す。 防火区画
 - は区画貫通箇所を示す。
 - 記載なき配管は、全て天井配管とする。
 - 室内機・室外機の通り配管は冷媒管共巻とする。
 - 屋外冷媒管外装は樹脂製とする。
 - 機室への接続配管口径は、機室表参照。

< 凡例 >

送風機・排風機・全熱交換器 機器表

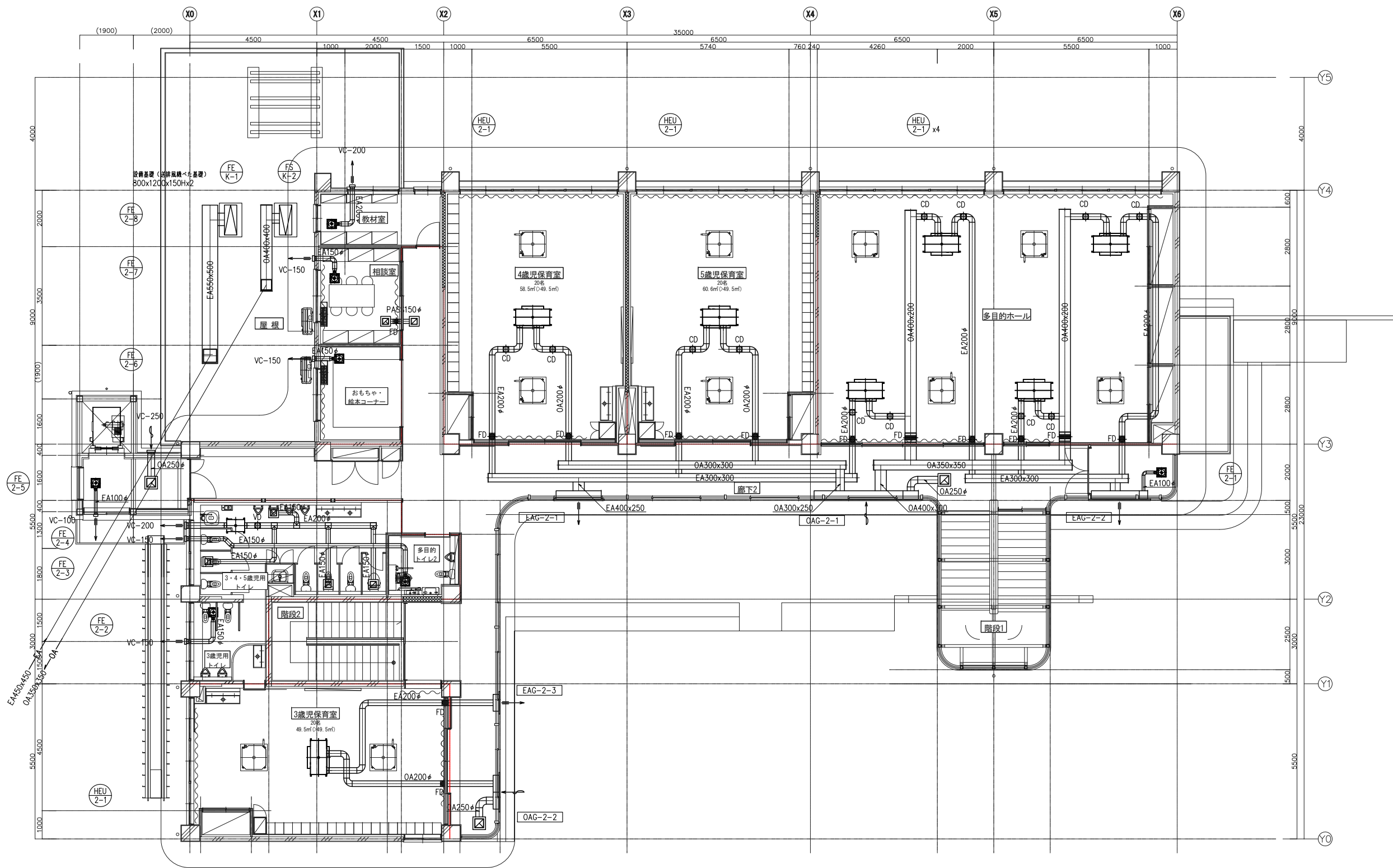
機器番号	系統	型式	設置				番手・口径	風量 (m3/h)	機外 静圧 (Pa)	電源 相電圧 V	消費電力 (kW)	INV	全熱交換器					フィルター	防振装置	コントロールスイッチ						集中 管理	連動 機器番号	24H 換気	台数	設置場所		備考							
			天井	床置	屋外	屋内							冷房効率 (%)	暖房効率 (%)	方式	加湿量 (kg/h)	リモコン			ON/ OFF	強弱	タイマー	温度	湿度	-					-	階		室名						
(排風機)																																							
FE-1-1	備蓄倉庫	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	備蓄倉庫				
FE-1-2	1・2歳児用 トイレ	消音ボックス付シロッコファン (消音型)	○	-	-	○	# 11/4	300	100	1	100	0.08	-	-	-	-	-	-	-	防振吊	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1・2歳児用 トイレ				
FE-1-3	沐浴室	消音ボックス付シロッコファン (消音型)	○	-	-	○	# 11/4	350	100	1	100	0.08	-	-	-	-	-	-	-	防振吊	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	沐浴室				
FE-1-4	職員室	天井扇 金属製 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	200	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	職員室				
FE-1-5	一時保育用トイレ	天井扇 3室用 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	170	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	一時保育用トイレ				
FE-1-6	多目的トイレ1	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	150	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	多目的トイレ1				
FE-1-7	2歳児用トイレ	天井扇 2室用 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	220	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	2歳児用トイレ				
FE-1-8	洗濯室	天井扇 3室用 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	180	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	洗濯室				
FE-1-9	職員用更衣室	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	120	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	職員用更衣室				
FE-1-10	倉庫2	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	倉庫2				
FE-1-11	EVホール1	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	EVホール1				
FE-2-1	倉庫4	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	倉庫4					
FE-2-2	3歳児用トイレ	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	220	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3歳児用トイレ				
FE-2-3	多目的トイレ2	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	150	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	多目的トイレ2				
FE-2-4	3・4・5歳児用トイレ	消音ボックス付シロッコファン (消音型)	○	-	-	○	# 11/4	580	100	1	100	0.11	-	-	-	-	-	-	-	防振吊	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3・4・5歳児用トイレ				
FE-2-5	EVホール2	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	EVホール2				
FE-2-6	おもちゃ・絵本コーナー	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	120	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	おもちゃ・絵本コーナー				
FE-2-7	相談室	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	150	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	2	相談室				
FE-2-8	教材庫	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	140	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	2	教材庫				
FE-K-1	調理室	シロッコファン (SUS) (消音型)	-	○	○	-	# 21/2	6,000	200	3	200	1.5	-	-	-	-	-	-	-	スプリング	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	設備置き場				
FE-K-2	調理室	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	140	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	調理室				
FE-K-3	下処理室	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	下処理室				
FE-K-4	給食休憩・更衣室	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	170	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	給食休憩・更衣室				
FE-K-5	給食室用トイレ	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	150	100	1	100	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	給食室用トイレ				
FE-K-6	食材庫	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	100	100	1	200	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	食材庫				
FE-K-7	検収室	天井扇 (低騒音型)	○	-	-	○	100φ	230	100	1	200	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	検収室				
(全熱交換器)																																							
HEU-1-1	保育室等	天井カセット型	○	-	-	○	150φ	350	100	1	100	0.3	-	60.5	67.0	-	-	メーカー標準	メーカー標準	防振吊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0歳児保育室				
																																	1	1	1歳児保育室				
																																		1	1	2歳児保育室			
HEU-1-2	保育室等	天井カセット型	○	-	-	○	200φ	500	100	1	100	0.3	-	60.5	67.0	-	-	メーカー標準	メーカー標準	防振吊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	職員室			
HEU-1-3	保育室等	天井カセット型	○	-	-	○	150φ	250	100	1	100	0.3	-	60.5	67.0	-	-	メーカー標準	メーカー標準	防振吊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	一時保育室			
HEU-2-1	保育室等	天井カセット型	○	-	-	○	200φ	500	100	1	100	0.3	-	60.5	67.0	-	-	メーカー標準	メーカー標準	防振吊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	2	3歳児保育室			
																																	○	1	2	4歳児保育室			
																																	○	1	2	5歳児保育室			
																																	○	4	2	多目的室			
(送風機)																																							
FS-K-1	調理室	シロッコファン (消音型)	○	-	-	○	# 2	3,000	200	3	200	0.91	-	-	-	-	-	-	-	防振吊	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	FE-K-1	-	1	1	検収室	
FS-K-2	調理室	シロッコファン (消音型)	-	○	○	-	# 13/4	3,000	200	3	200	0.75	-	-	-	-	-	-	-	スプリング	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	FE-K-1	-	1	2	設備置き場	

特記事項
 1.電源周波数は○50Hz・60Hzとする。
 2.電気容量は参考値とする。
 3.その他標準付属品見込む。



- 注記
- (1) 記号の赤線は 防火区画
 - (2) 記号の黒ダクトは、全て天井内とする。
 - (3) 厨房排気ダクトは、RW50mmとする。
 - (4) FD設置場所は450x450の点検口を設置すること。

< 凡例 >



- 注記
- (1) ————— 防火区画
 - (2) 記載なきダクトは、全て天井内とする。
 - (3) 扇房排気ダクトは、RW50mmとする。
 - (4) FD設置箇所には450x450の点検口を設置すること。

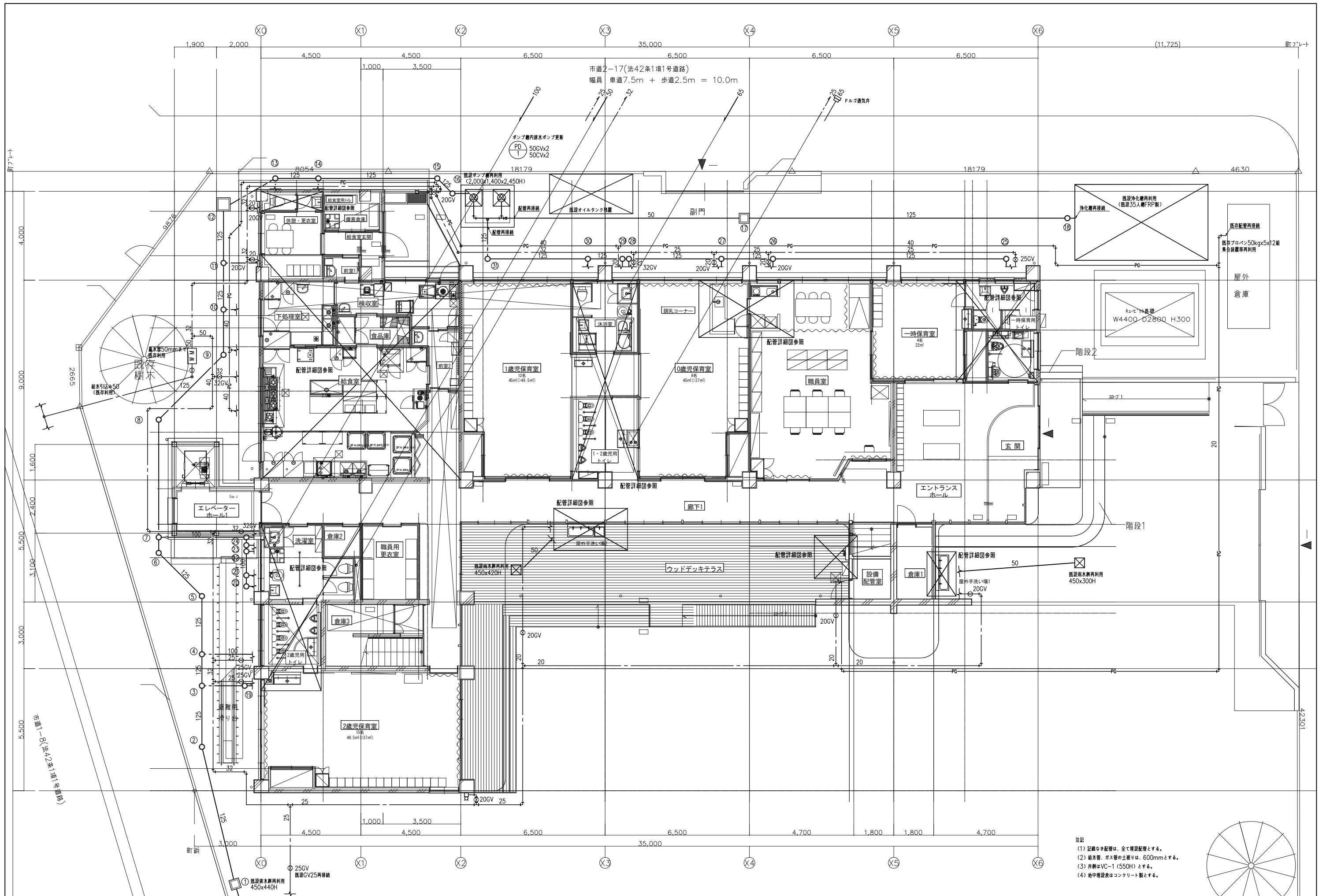
< 凡例 >

衛生設備 機器表									
機器番号	機器名称	仕様	電源		消費電力 (kW)	台数	設置場所		備考
			相 φ	電圧 V			階	室名	
WHG-1	ガス給湯器	型式：屋外壁掛型 能力：16号 燃料消費量：30.1kW (LPG) 付属品：配管カバー、リモコン、リモコンコード、排気カバー 他標準付属品一式	1	100	0.3	2	-	屋外 (浴室) (屋外シャワーコーナー)	
WHG-2	ガス給湯器	型式：屋外壁掛型 能力：20号 燃料消費量：37.5kW (LPG) 付属品：配管カバー、リモコン、リモコンコード、他標準付属品一式	1	100	0.3	1	-	屋外 (調理室食洗器)	
WHG-3	ガス給湯器	型式：屋外壁掛型 能力：24号 燃料消費量：45.2kW (LPG) 付属品：配管カバー、リモコン、リモコンコード、他標準付属品一式	1	100	0.3	1	-	屋外 (調理室)	
WHE-1	電気温水器	型式：貯湯式槽置型 貯湯量：20L 付属品：膨張水排出装置、フローキャッチャー、他標準付属品一式	1	100	1.1	2	1	調乳コーナー 職員室	
GT-1	グリーストラップ	型式：FRP製・パイプ流入式・地中埋設型 容量：30L 許容流入量：22.5L/min 阻集グリース量：7.4kg 付属品：錆鉄蓋、他標準付属品一式				1	-	屋外	
PD-1	排水水中ポンプ	型式：樹脂製汚水水中ポンプ 自動交互運転型 非常時同時運転 50A x 200L/min x 5m 付属品：制御盤、制御ケーブル、フロートスイッチ、他標準付属品一式	1	100	0.4x2	1組	-	排水槽内	

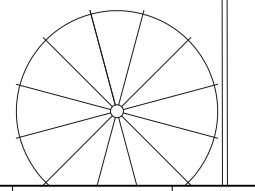
汚水溝リスト

番号	仕様	設置GL (設計GL±)	溝深さ	蓋種類	備考
①	RC溝 450x450	0	440	コンクリート	既設溝から延長(接続見込む)
②	塩ビ溝 125-200-22.5L	0	510	塩ビ製	
③	塩ビ溝 125-200-90Y	0	540	塩ビ製	
④	塩ビ溝 125-200-90Y	0	560	塩ビ製	
⑤	塩ビ溝 125-200-90L	0	580	塩ビ製	
⑥	塩ビ溝 125-200-45L	0	610	塩ビ製	
⑦	塩ビ溝 125-200-90Y	0	620	塩ビ製	
⑧	塩ビ溝 125-200-90L	0	680	塩ビ製	
⑨	塩ビ溝 125-200-90L	0	730	塩ビ製	
⑩	塩ビ溝 125-200-90Y	0	750	塩ビ製	
⑪	塩ビ溝 125-200-90Y	0	770	塩ビ製	
⑫	RC溝 600x600	0	800	コンクリート	
⑬	塩ビ溝 125-200-90Y	0	830	塩ビ製	自在継手
⑭	塩ビ溝 125-200-90Y	0	850	塩ビ製	
⑮	塩ビ溝 125-200-45L	0	910	塩ビ製	
⑯	塩ビ溝 125-200-45L	0	920	塩ビ製	
⑰	RC溝 450x450	0	400	コンクリート	
⑱	塩ビ溝 125-200-ST	0	550	塩ビ製	
⑲	塩ビ溝 100-200-45Y	0	400	塩ビ製	
⑳	塩ビ溝 100-200-90L	0	400	塩ビ製	
㉑	塩ビ溝 100-200-90Y	0	420	塩ビ製	
㉒	塩ビ溝 100-200-90Y	0	440	塩ビ製	
㉓	塩ビ溝 100-200-90Y	0	450	塩ビ製	
㉔	塩ビ溝 100-200-90Y	0	470	塩ビ製	
㉕	塩ビ溝 125-200-90L	0	430	塩ビ製	
㉖	塩ビ溝 125-200-90Y	0	540	塩ビ製	
㉗	塩ビ溝 125-200-90Y	0	570	塩ビ製	
㉘	塩ビ溝 125-200-90Y	0	610	塩ビ製	
㉙	塩ビ溝 125-200-90Y	0	620	塩ビ製	
㉚	塩ビ溝 125-200-90Y	0	640	塩ビ製	
㉛	塩ビ溝 125-200-90L	0	690	塩ビ製	
㉜	RC溝 600x600	0	580	コンクリート	
㉝	塩ビ溝 100-200-90L	0	600	塩ビ製	
㉞	塩ビ溝 100-200-90L	0	620	塩ビ製	
㉟	塩ビ溝 100-200-90Y	0	630	塩ビ製	
㊱	塩ビ溝 100-200-90L	0	630	塩ビ製	
㊲	塩ビ溝 100-200-45L	0	350	塩ビ製	

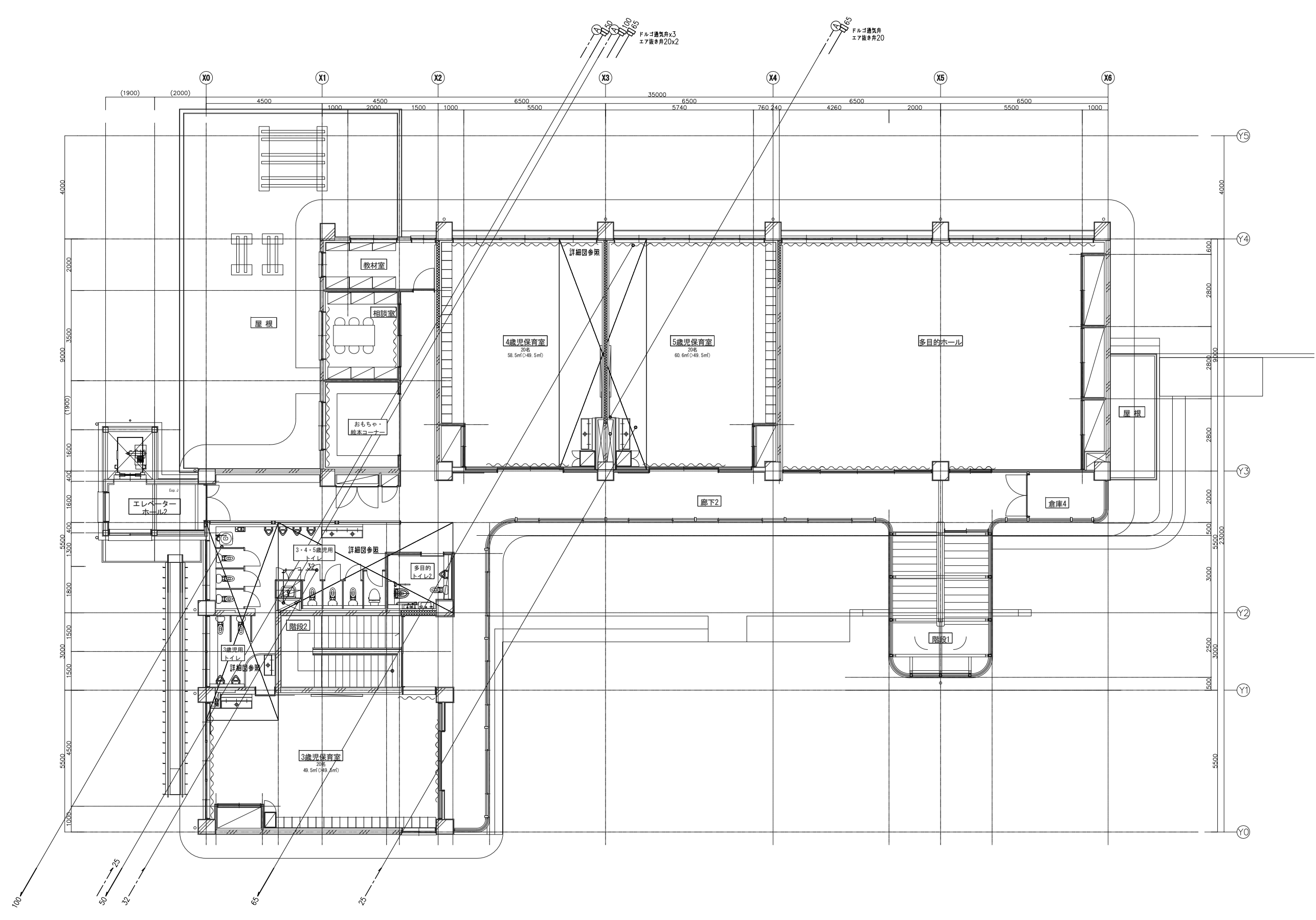
<凡例>



- 注記
- (1) 記載なき配管は、全て埋設配管とする。
 - (2) 給水管、ガス管の土表りは、600mmとする。
 - (3) 弁類はVC-1 (550H) とする。
 - (4) 地中埋設管はコンクリート製とする。



<凡例>



< 凡例 >

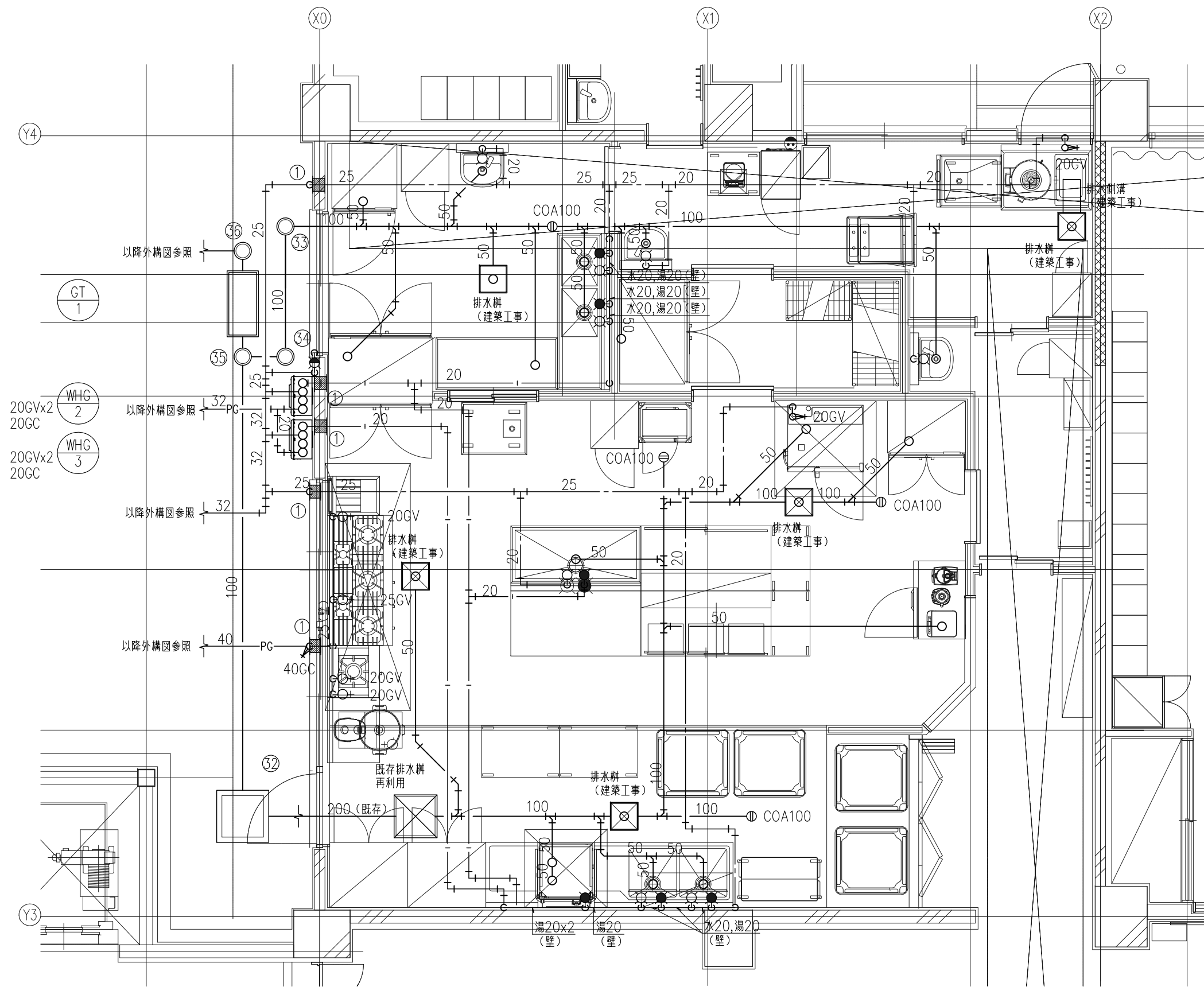
株式会社 桂設計 埼玉事務所
 KATSURA SEKKEI INC.
 一級建築士登録 第301170号 白須 若菜

工事名 川島町公立保育園統合整備工事
 図面名 衛生設備 2階配管平面図

縮尺 A1:1/75
 A3:1/150

令和7年9月4日
 計画 製作 調査 調査

業務番号 000000
 図面番号 M-14



給食室廻り配管詳細図

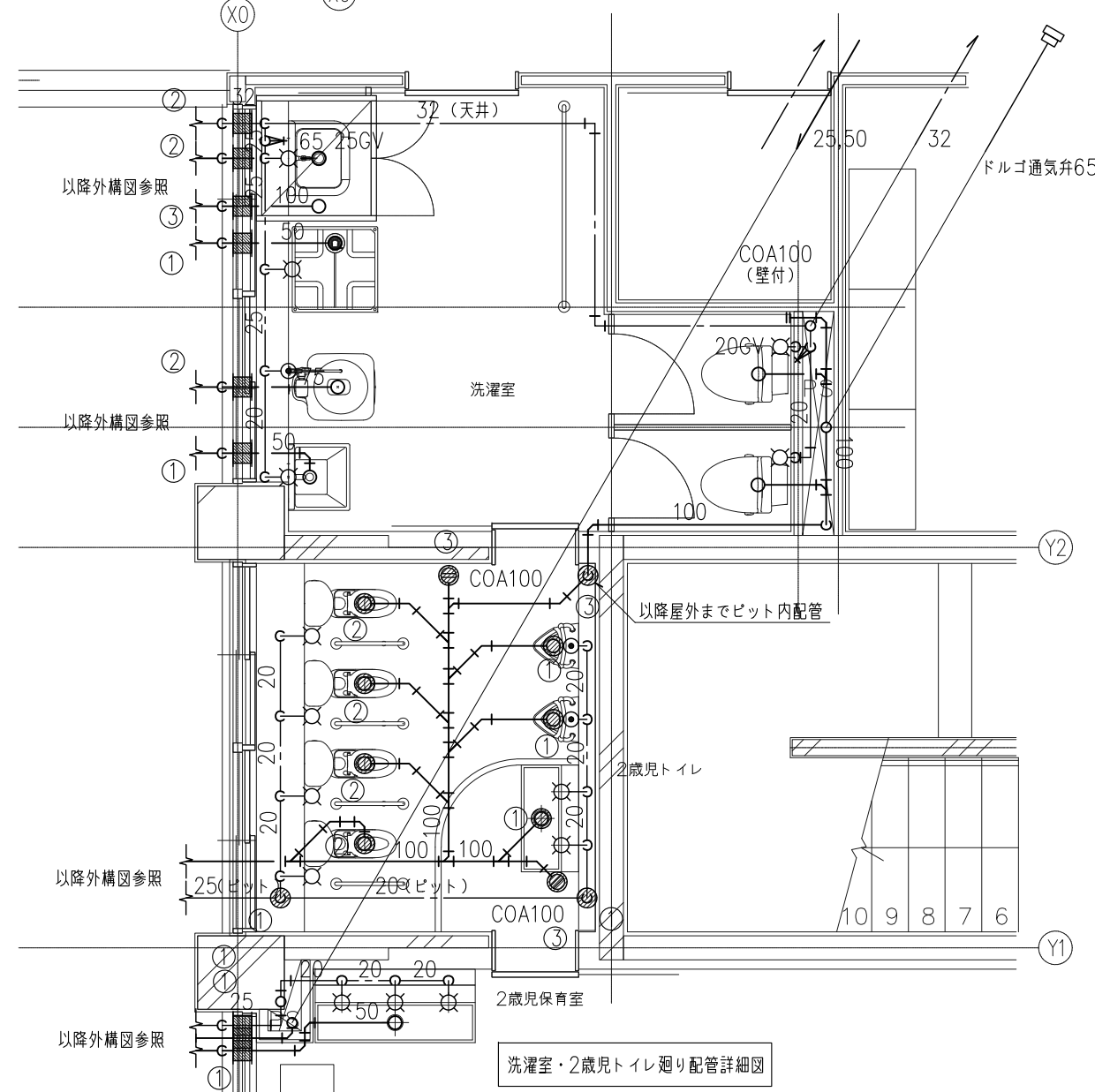
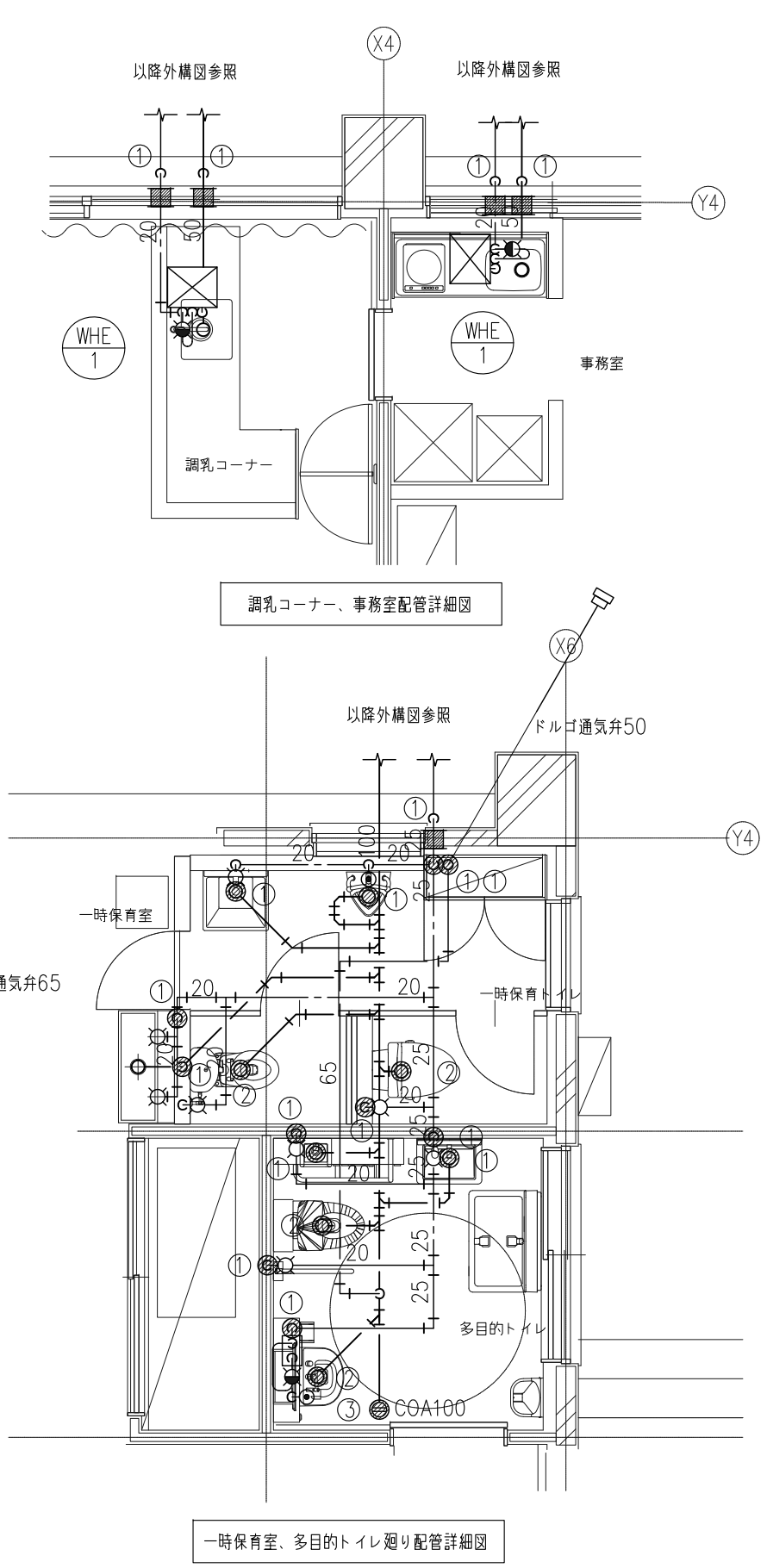
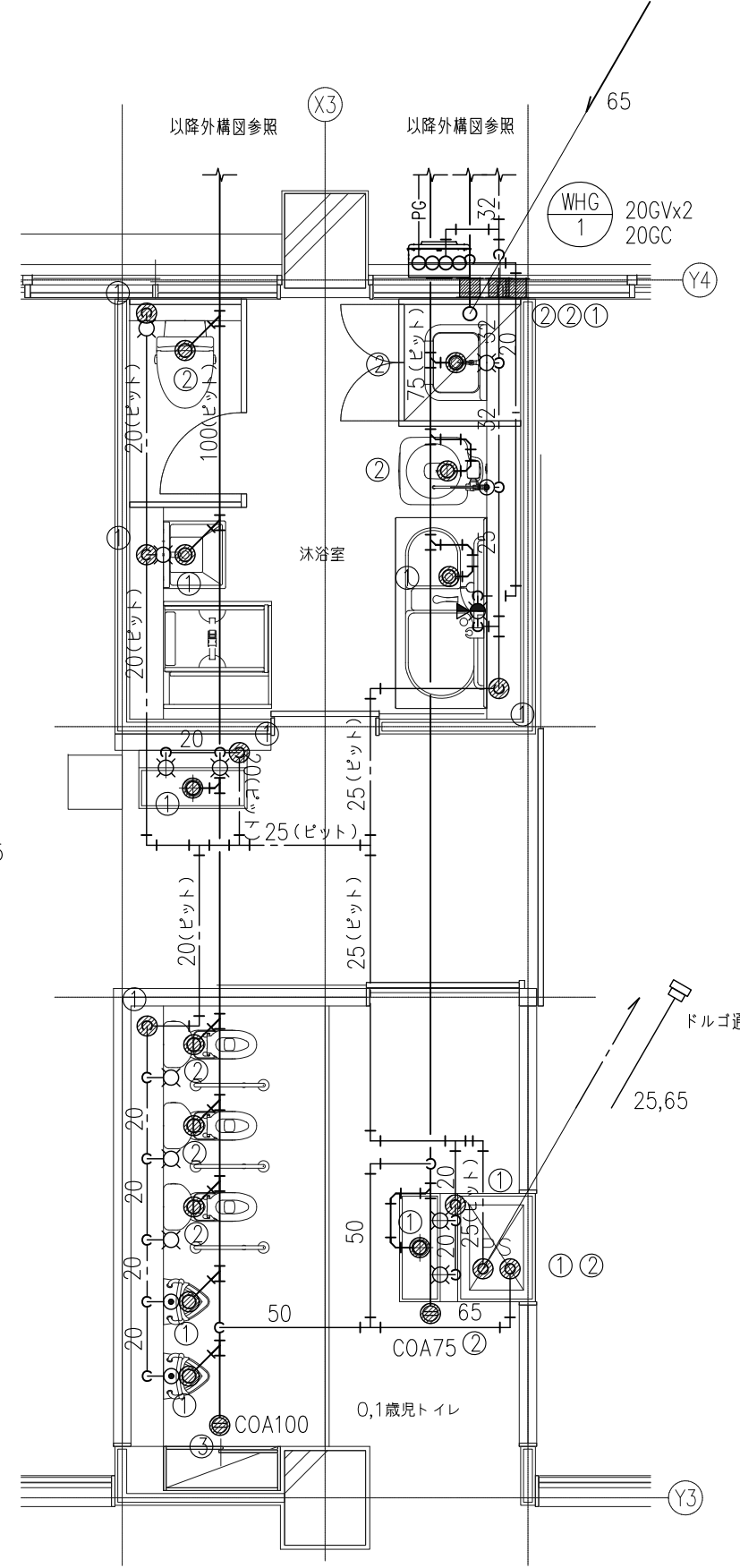
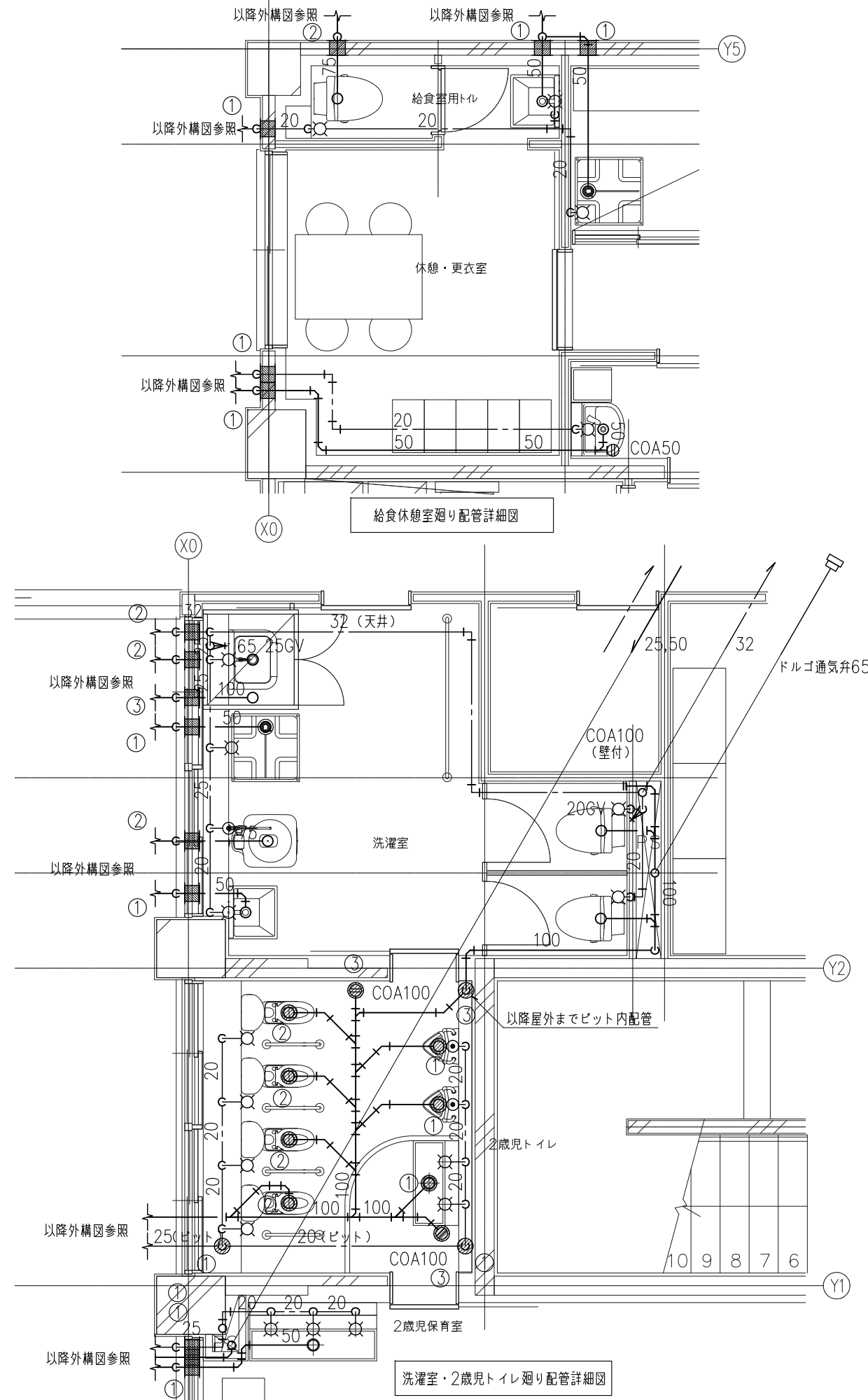
接続口径リスト（以降、これに準ずる）

種類	接続口径		
	給水	給湯	排水
洗面器・手洗器	15	15	50
大便器（FV）	25		75
大便器（タケ・フラッシュタンク）	15		75
小便器（FV）	15		50
掃除流し	20		65
汚物流し	15		75
流し類	15	15	50

はつり口径一覧

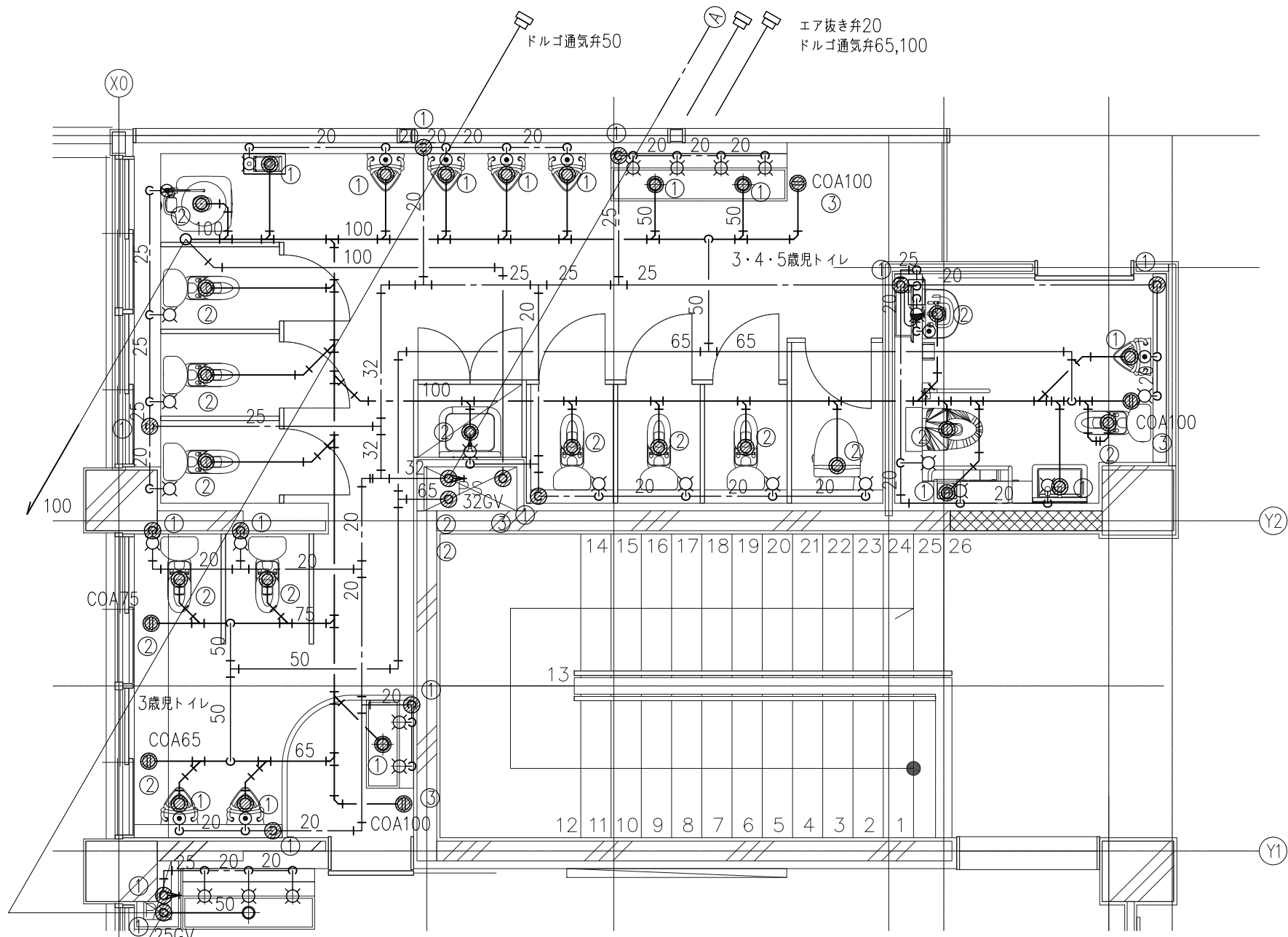
記号	口径
①	75φ
②	100φ
③	125φ

注記
1. 厨房機器への接続は本工事とする。

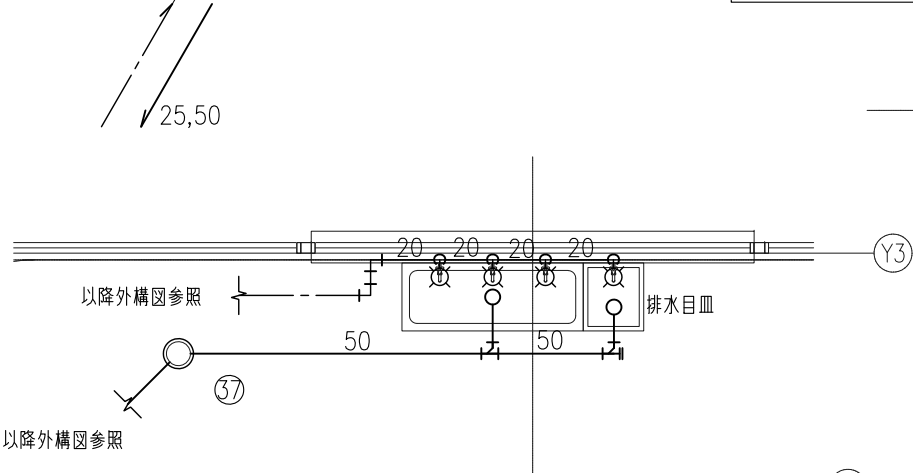


はつり口径一覧

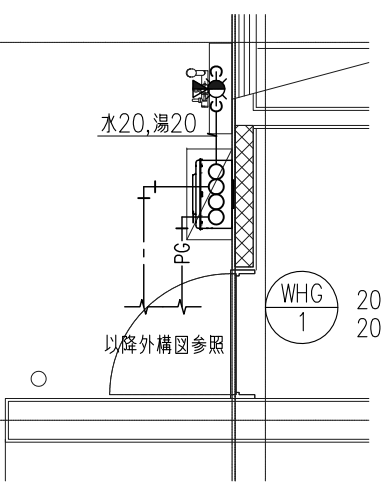
記号	口径
①	75φ
②	100φ
③	125φ



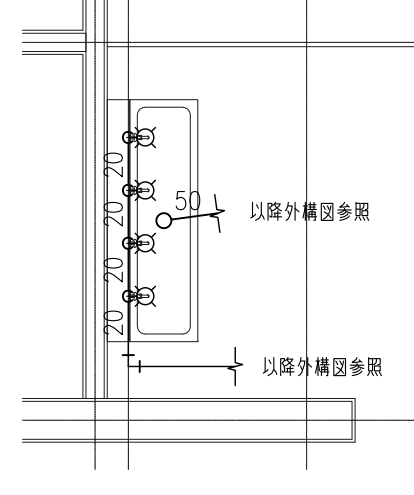
3歳児、3・4・5歳児トイレ廻り配管詳細図



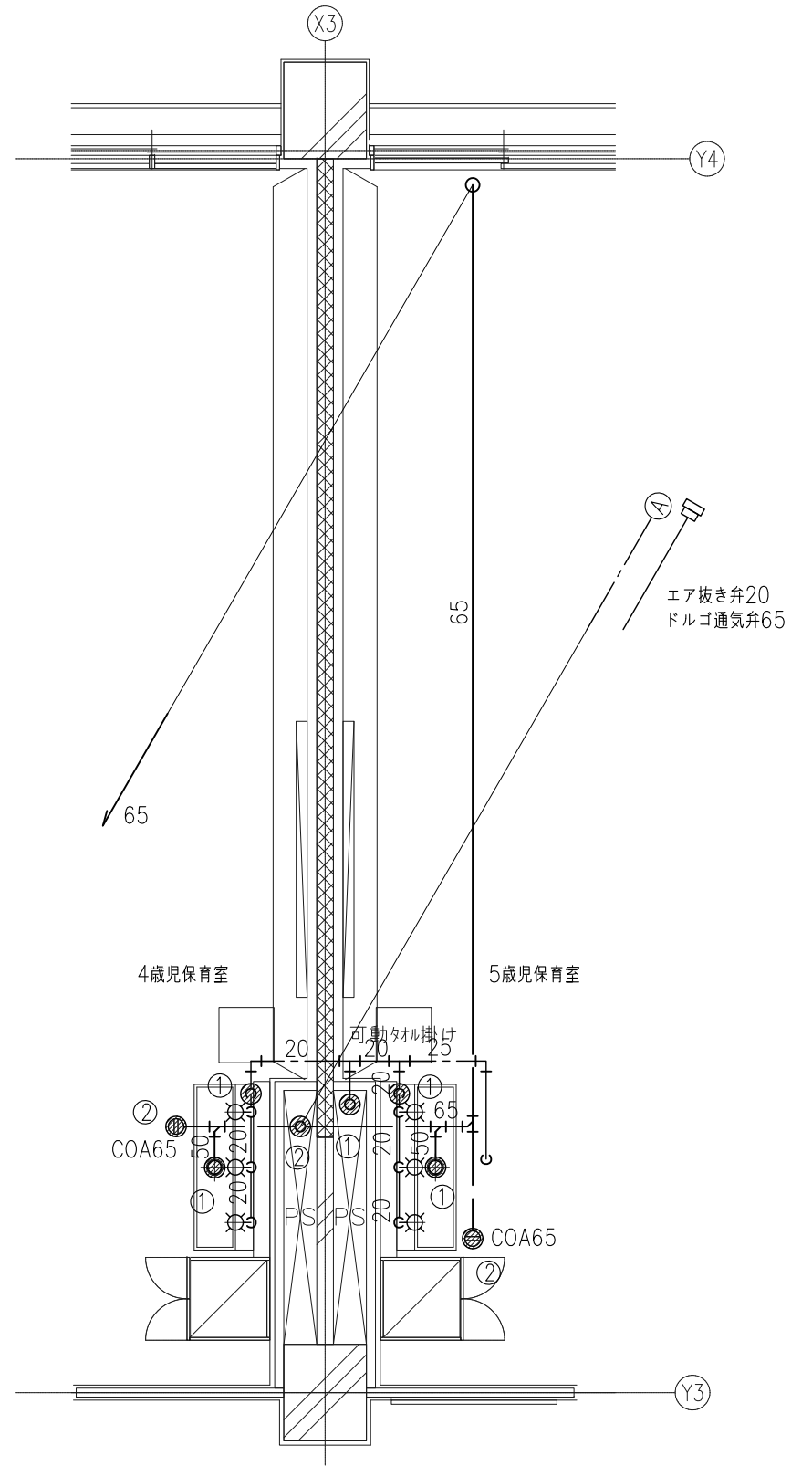
屋外手洗い場2廻り配管詳細図



屋外シャワー場1廻り配管詳細図



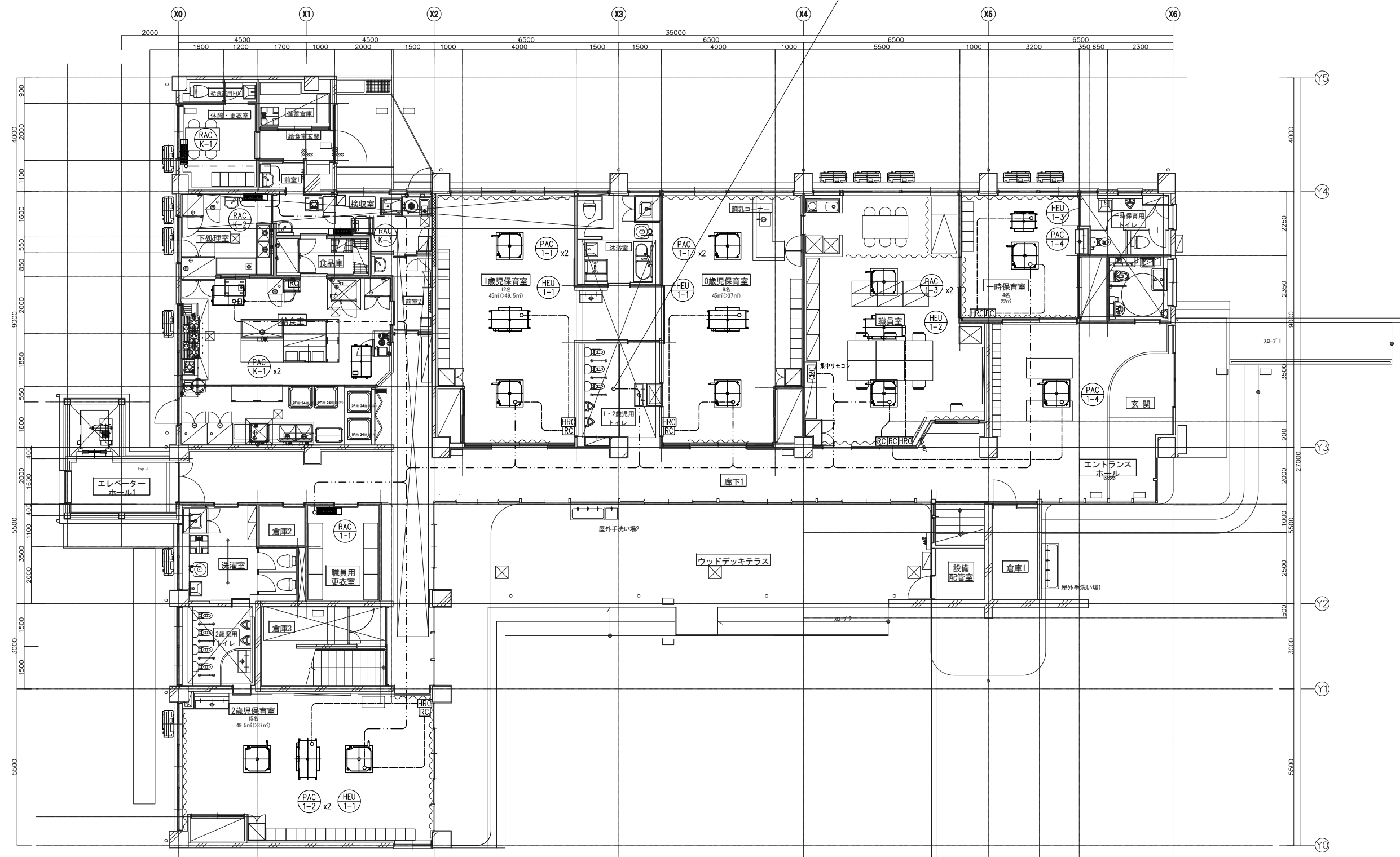
屋外手洗い場1廻り配管詳細図



4, 5歳児保育室廻り配管詳細図

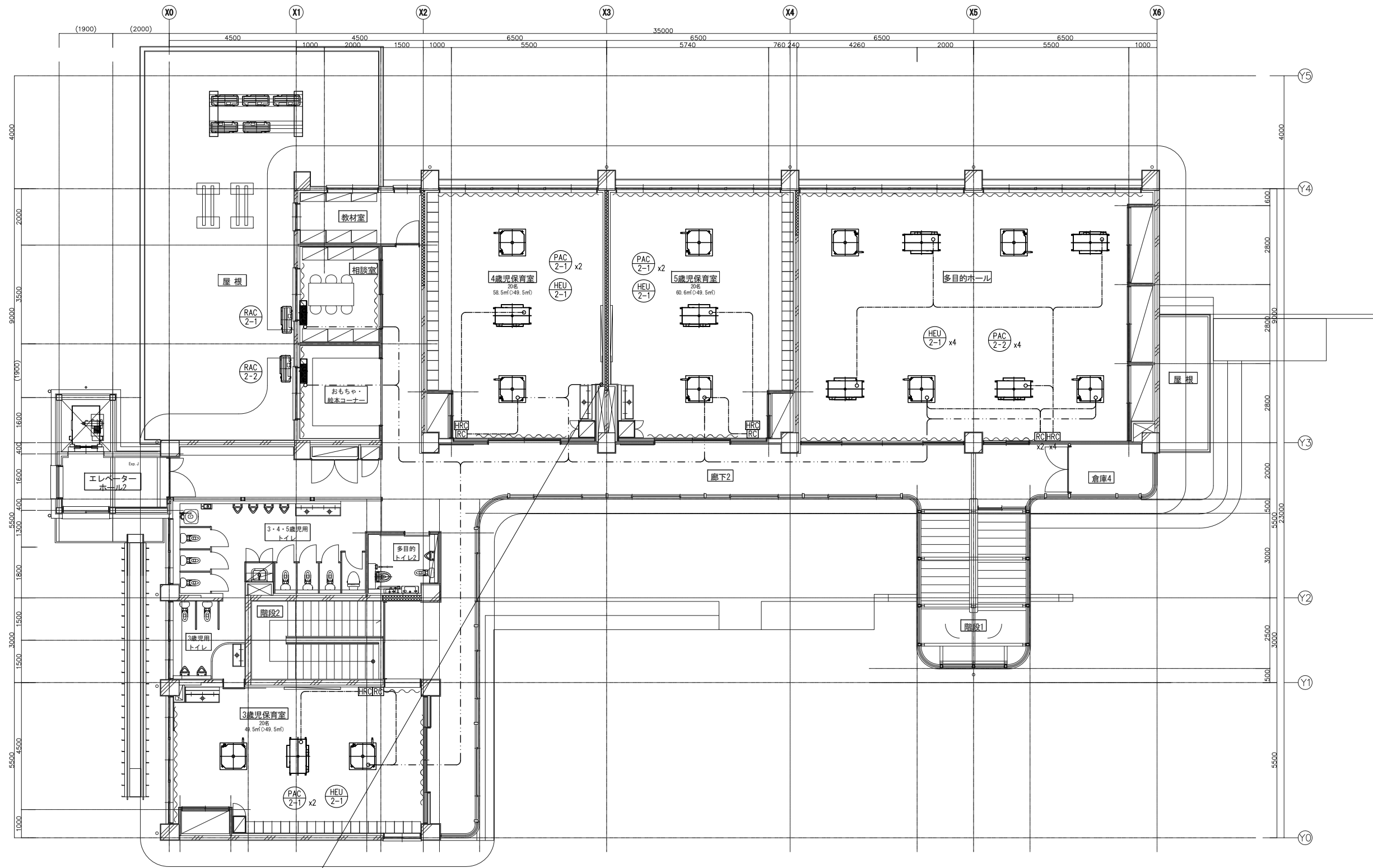
はつり口径一覧

記号	口径
①	75φ
②	100φ
③	125φ



- 注記
- (1) リモコン配線 EM-CEE1.25mm2-2C (コロガシ)
 - (2) 集中リモコン用配線 EM-CEE1.25mm2-2C (コロガシ) x2本
 - (3) RC:空調リモコン, HRC:全熱交換器リモコン, CRC:集中コントローラ
 - (4) 室内機・室外機の配線は冷媒管と併走とする。
 - (5) 配線において、壁立上り及び立下り部分はPF22にて保護すること。
 - (6) ワイヤードリモコン:FL+1,200程度に設置すること。

< 凡例 >



- 注記
- (1) リモコン用配線 EM-CEE1.25mm2-2C (コロガシ)
 - (2) 兼用リモコン用配線 EM-CEE1.25mm2-2C (コロガシ) x2本
 - (3) RC: 空調リモコン, HRC: 金熱交換器リモコン, CRC: 兼用コントローラ
 - (4) 室内機・室外機の差り配線は冷媒管と差す。
 - (5) 配線において、壁立上り及び立下り部分はPF22にて保護すること。
 - (6) ワイヤードリモコン: FL+1,200程度に設置すること。

< 凡例 >